



■プロフィール■

猪奥美里（いおく みさと）
 1980年奈良市秋篠町生まれ
 平城小学校・平城中学校／ドイツギムナジウムジーク留学／奈良大学附属高等学校／立命館大学・立命館大学大学院（環境経済学専攻）／衆議院議員秘書
 2011年奈良県議会議員初当選
 2015年4月12日2期目当選

◆厚生委員会

観光振興対策特別委員会所属

■省エネをエネルギー政策の柱に■

今年も記録的な暑さが続いています。地球温暖化の影響は見すごせません。先月号で、県のエネルギー政策が地球温暖化対策とリンクしていないと指摘しました。今月号では、エネルギー政策、地球温暖化対策の両方の柱にすべき「省エネ」について取り上げます。省エネを行う事は、温暖化対策だけではなく、県から流出している財産を県内で循環させ、産業育成につなげる事が出来ます。

■上がり続ける光熱費■

流出している財産とは、光熱費です。総務省の調査によると、奈良市の一世帯当たり電気・ガスの月間使用量は17,327円。年間では20万円を超える光熱費がかかっています。現状、再生可能エネルギーの設備容量を増やしているにせよ、電気・ガスのほとんどは関西電力と大阪ガスから購入しています。一世帯あたり年間20万円、奈良県全世帯の合計では年間1166億円以上という大きな額（これは県民の財産）が光熱費という形で県外の企業へ、また原油購入の為アラブ等への国外へと流出しているのです。

光熱費の中心は電気代です。原子力発電所が順次運転を停止し、火力発電にシフトする中で、国際的な原油価格の高騰も相まり、上昇が続いています。例えば奈良市では、月世帯平均の電気代は2005年には8,625円でしたが、2014年には10,383円と大きく値上がりが見られます。石油の埋蔵総量に関しては諸説ありますが、今後想定される資源の減少や、これから一層の採掘コストの上昇、原油価格の更なる高騰、ひいては電気代の益々の値上がりは容易に想定されます。

県内の家庭でのエネルギーの総消費量は、工場や商業ビルでの産業系のエネルギー消費量とおおよそ同量を占めます。産業や運輸の部門と異なり、家庭への省エネの戦略的取組はこ

れまでほとんど行われてきませんでした。

■啓蒙や意識変革からの脱却

現状、家庭部門の省エネへの政策は、啓蒙や意識に訴えかけるものが大半を占めています。啓蒙は大事ですが、ガマンの省エネではなく、政策で取組むべきです。

私は、既存の住宅に対する断熱性向上などの省エネ化リフォーム改修を推し進める政策を奈良県でも行うべきだと考えます。いくらエアコンをつけてもなかなか涼しくならない、これは窓や壁から冷気が逃げてしまっているからです。断熱が行われてない住宅では、暑さ・寒さの3割の原因が窓だといわれています。例えば、室内の温熱環境維持するために窓ガラスの熱損失を少なくするトリプルガラスサッシ等への改修や、外壁面等に十分な断熱材を入れる改修などのリフォームが考えられます。

日本では住宅の省エネ化を義務づける法律がようやくでき、2020年度から義務化されますが、これは新築住宅に限られます。しかし、既存の住宅に関する規制はありません。

ドイツでは、断熱を中心とする省エネリフォームが、エネルギー政策の一番の柱にされています。助成金や低利子の融資等を行い省エネリフォームが活発になった2000年頃から暖房用のエネルギー消費は低下を続け、（裏に続く）

7月スケジュール

- 1日(水)厚生委員会
- 2日(木)上村和宣氏 全国商工会青年部連合会長就任祝賀会
- 3日(金)本会議6月議会閉会、議会改革推進会議
- 4日(土)休み
- 5日(日)民主党女性議員ネットワーク会議@東京
- 6日(月)民主党女性議員ネットワーク会議@東京
- 7日(火)支持者面談
- 8日(水)ニュース作成、印刷
- 9日(木)ニュース印刷
- 10日(金)京都府議会民主党議員団意見交換会、奈良青年会議所入会式
- 11日(土)「平成28年度政府予算編成に関する提案・要望」説明会
- 12日(日)支持者面談、ポスティング
- 13日(月)パナホーム藤沢スマートシティ視察
- 14日(火)平和行進・平和の火リレー結団式
- 15日(水)休み
- 16日(木)支持者面談
- 17日(金)民主党奈良県連打ち合わせ
- 18日(土)終戦70周年市民と共に平和を考える集い
- 19日(日)幻の五新鉄道活用プロジェクト
- 20日(月)挨拶回り
- 21日(火)厚生委員会県内調査(コミュニティワークこっから、あすなら苑)
- 22日(水)非核・平和行進
- 23日(木)会派会議
- 24日(金)県内大学生が創る奈良の未来事業公開コンペ、
文教くらし委員会県内調査(奈良西養護学校)
- 25日(土)梅ヶ丘夏祭り、山陵町夏祭り
- 26日(日)JP 奈良支部大会
- 27日(月)観光振興対策特別委員会県内調査
(馬見丘陵公園、唐古・鍵考古学ミュージアム、奈良文化財研究所藤原京跡資料館)
- 28日(火)ドットジェイピー二次面接、経済労働委員会県内調査(大和ハウス工業)
- 29日(水)ポスティング、支持者面談
- 30日(木)ニュース執筆、県議会野球部練習
- 31日(金)エネルギー政策推進特別委員会視察(上津ダム)

〒631-0817

奈良市西大寺北町1丁目1-16岡本ビル103号

TEL 0742-53-1093

FAX 0742-53-1094

メール info@ioku.jp

ブログ <http://ameblo.jp/1093310/>

フェイスブック <http://www.facebook.com/misato.ioku>

ホームページ <http://ioku.jp/> ←過去のニュースは
こちらをご覧ください

(表からの続き)

この15年間の省エネリフォームの成果とし、100万件の改修が行われ、金銭換算で、約2兆円の光熱費の削減に繋がったとされています。省エネリフォーム化の工事は、工務店等の地域の中小企業が実施し、毎年およそ30万人～34万人の雇用効果がありました。

省エネ化リフォームを行うことで、1) 光熱費の削減ができ、2) 暖房にともなう1次エネルギーが削減でき、3) さらに地域の工務店の雇用が増加する、まさに地域で取り組むべき政策です。外部に流出している光熱費を、地域の雇用へと置き換える事が出来る、省エネ化リフォームをエネルギー政策としてだけではなく、住宅政策や雇用政策とリンクさせて実施していくべきだと考えます。

ポスティングのお願い

このいおくニュースは、
いおく、事務所スタッフ、
そしてボランティアの皆さんの手配りでお配りしています。議員って何をしているか分からない！そんなお声を良く聞きます。いおくが何を考え、何をしているか皆さんに知っていただきたいと考えています。少しでも結構です。ご自宅の周りや散歩コース等お手伝いください。